

第29回 横浜環境活動賞 受賞者決定

第8回 ヨコハマ温暖化対策賞

～環境の保全・再生・創造に貢献する市民・企業等を表彰します！～

横浜市では、様々な環境活動を積極的に行っている方々を「横浜環境活動賞」として、また、温暖化対策において優良な事業者を「ヨコハマ温暖化対策賞」として、表彰しています。第29回横浜環境活動賞の受賞者13者及び第8回ヨコハマ温暖化対策賞の受賞者6者がそれぞれ決定しました。この度、両者の表彰式を3年ぶりに同時開催します。

開催概要

1 日時

令和4年6月10日（金）午後2時30分から午後4時まで

2 会場

横浜市庁舎 31階レセプションルーム

3 内容

- ・平原 敏英 副市長より受賞者の皆様に表彰状を授与
- ・横浜環境活動賞受賞者から御挨拶
(市民の部大賞、企業の部大賞、児童・生徒・学生の部大賞、生物多様性特別賞)
- ・ヨコハマ温暖化対策賞受賞者の代表者から御挨拶
- ・横浜環境活動賞審査委員会委員長から講評

4 受賞者

- (1) 第29回 横浜環境活動賞 13者 詳細は別紙1をご参照ください。
(2) 第8回 ヨコハマ温暖化対策賞 6者 詳細は別紙2をご参照ください。

5 取材について

取材を希望される場合は前日の17時までに問合せ先までご連絡ください。

6 その他

一般の方はご入場いただけませんので、ご了承ください。



横浜市環境行動キャラクター
エコぼん

お問合せ先

(横浜環境活動賞について)

環境創造局政策課環境プロモーション担当課長 安藤 成晃 Tel 045-671-3830

(ヨコハマ温暖化対策賞について)

環境創造局環境管理課長 森山 晴美 Tel 045-671-2474

第 29 回 横浜環境活動賞の受賞者について

横浜環境活動賞は、様々な環境活動を積極的に行っている方々を表彰する制度です。

横浜市は、この制度を通し、環境の保全・再生・創造に対する関心をより一層高めていただくとともに、環境活動を推進し、環境にやさしいまちづくりに取り組む方々を応援しています。

1 受賞者一覧（全 13 者） ※受賞者の概要は別添資料参照（敬称略・五十音順）

市民の部（7 団体）

大賞 ヨコハマ海洋市民大学

実践賞 海藻おしば協会 神奈川支部

KAZOO

認定特定非営利活動法人神奈川海難救助隊

早渕川ファンクラブ

特定非営利活動法人もあなキッズ自然楽校

特定非営利活動法人わかば

企業の部（2 社）

大賞 株式会社 REJ 横浜事業所

実践賞 日産自動車株式会社 テクニカルセンター

児童・生徒・学生の部（4 団体）

大賞 神奈川県立瀬谷西高等学校

実践賞 横浜市立富岡中学校 科学部

横浜市立羽沢小学校

Bee ぐみプロジェクト

生物多様性特別賞（1 団体）

早渕川ファンクラブ ※市民の部実践賞と同時受賞

第 29 回横浜環境活動賞 受賞者概要

市民の部 (7団体)

(敬称略・五十音順)

受賞内容	受賞者名	活動地域	活動概要
大賞	ヨコハマ海洋市民大学	横浜市を中心とした県内沿岸部	横浜の海について、問題解決に向けて横浜から各地域で自ら行動を起こしていく人材(海洋教育デザイナー)の育成を目指し、座学、ワークショップ、フィールドワークによる講座開催等の活動を実施。コロナ禍でもオンライン講座の開催等、活動を継続。同じ目標を持つ人をつなぐプラットフォームの機能も担い、着実に成果をあげている。
実践賞	海藻おしば協会 神奈川支部	横浜市全域、茅ヶ崎市、藤沢市、大磯町	「光りはごはん、海を濁さないで」をスローガンに、海の問題のレクチャーと漂着海藻による海藻おしばづくりを通して、海への関心を高め、海藻の大切な働きへの理解につながる講座を開催するほか、指導者養成講座により活動を継続している。地域沿岸の海藻を教材として活用することで、地元の海の大切さも伝えている。
実践賞	KAZOO	磯子区、町田市、愛媛県伊方町など	子どもたちが海の問題について考えるきっかけづくりを目的とし、全国の港町と連携、海岸に漂着したプラスチックを親子でペイントする SDGs ワorkshop「親子 de ブイアート」や、配信イベント「うち de ブイアート」など、横浜発信の活動を広く展開している。
実践賞	認定特定非営利活動法人神奈川海難救助隊	横浜港内、東京湾(相模湾等含む)	「海が好き、船が好き、人のために何かしたい」という会員が、横浜港内を中心に、海洋浮遊ごみの回収を平成 11 年から 22 年間継続活動している。一般ボランティアも参加し、浮遊ごみを回収し分別分類することで、マイクロプラスチック問題の理解促進なども行っている。また、類似活動を広めるため、SNS を活用し広く活動内容の PR を行う。
実践賞	早渕川ファンクラブ 生物多様性特別賞 同時受賞	早渕川全域、都筑区、伊豆下田海岸ほか	早渕川親水広場や早渕川全域で定期的に美化活動を 28 年継続し、早渕川の環境保全活動を行う。水辺の動植物の観察などフィールドワークも行い、生き物の生態やごみ問題についての環境教育も手掛けている。SNS を活用して水辺の生き物情報の発信など積極的に行い、地域住民の環境保全の意識向上へつなげている。
実践賞	特定非営利活動法人もあなキッズ自然楽校	都筑区	河川・海岸ごみの調査やクリーンアップ活動など自然活動体験を通して環境を学ぶ「海山 eco」と、学童にて体験を通して環境問題について学びを深める「地球の日」を柱に、小学生を対象に地球で起きている問題について考える機会の創出を行っている。活動終了後は、地域へ報告会を行い、子どもだけでなく大人の行動変容へもつなげている。
実践賞	特定非営利活動法人わかば	緑区	沿道の清掃活動や、ハマロード申請道路 340m の植栽樹に四季折々の花苗を植える植栽維持管理を行う。花苗を植えた後も、花ガラ摘み・剪定等の手入れ・水やりを日常的に行うなど、美化活動を継続して実施している。また、他団体との協働事業で障がい者との協働による美化清掃活動を行っている。

企業の部（2社）

受賞内容	受賞者名	所在区	取組概要
大賞	株式会社 REJ 横浜事業所	金沢区	SDGs 環境委員会の社内設置、環境推進リーダー任命など組織体制を整備し、SDGs への貢献、環境マネジメントシステム推進のための企画等を進めている。所内で31品目のごみ分別を実施するなど3Rの取組も推進している。また、従業員及び協力会社に環境教育を実施するほか、事業所周辺を清掃する地域美化活動も行っている。
実践賞	日産自動車株式会社 テクニカルセンター	厚木市、西区	研究・開発部門で独自に開発した環境問題をテーマとした出張授業プログラムを横浜市環境教育出前講座で実施。地球温暖化などの環境問題と環境負荷低減に向けた自動車業界の取組を伝えることで環境意識を育てている。コロナ禍でも動画教材とモデルカーの貸出プログラムを提供し、オンライン授業の実施など柔軟に授業を展開している。

児童・生徒・学生の部（4団体）

受賞内容	受賞者名	所在区	活動概要
大賞	神奈川県立瀬谷西高等学校	瀬谷区	創立当初から海軍道路の清掃活動を開始し、現在は花の植栽を通じて瀬谷の活性化を目指すフラワーロードプロジェクトに取り組んでいる。ビーチクリーンや、企業等と連携した食品ロス削減、エシカル消費など環境保全に寄与する活動を実施。令和4年度完校予定で最終学年となった43期生は、活動を地域に継承することを目指している。
実践賞	横浜市立富岡中学校 科学部	金沢区	大岡川の水質調査を定期的に行う中でプラスチックごみの存在に気づき、調査研究を開始。主体的に川の観察や海の観察を継続し、プラスチックごみ問題と下水道、生活排水について考察を行い、活動内容や調査結果を下水道展において発表した。また、学内の池を生物多様性保全のためのビオトープとして生徒主体の改修を行った。
実践賞	横浜市立羽沢小学校	神奈川区	地元農家の協力を得てキャベツを栽培・販売し、地産地消に貢献する活動を26年間継続して行っている。学年ごとにテーマを決め、SDGs への取組を推進し、バラ「はまみらい」の植樹、廃食油によるキャンドル作り、ビオトープの整備など多岐にわたる活動を行う。学校で行った活動は学内から家庭での実践にも波及している。
実践賞	Bee ぐみプロジェクト	南区	ミツバチの飼育とハチミツの採集を通じた地産地消と、活動内容の発信を通して地域環境についての啓発を行っている。大岡小学校の取組として開始した活動が、地域の企業や商店街を巻き込んで、児童から高校生となった現在も活動を継続している。活動を通じて地域の交流や環境の情報発信など、地域のつながりづくりにも貢献している。

第 8 回 ヨコハマ温暖化対策賞の受賞者について

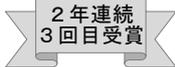
横浜市では、事業者の方々と横浜市が相互に連携を図りながら、市内における温室効果ガスの排出の抑制に向けた取組を計画的に進めています。横浜市地球温暖化対策計画書制度において、大幅な温室効果ガス排出量の削減などの顕著な実績をあげた企業を「ヨコハマ温暖化対策賞」として表彰しています。

本年度は、令和 3 年度に報告書の提出があった 310 者の中から 6 者の表彰を決定しました。

第 8 回 ヨコハマ温暖化対策賞 受賞者の皆様（全 6 者）

（敬称略、五十音順）



受賞者名 （日本標準産業分類 大分類）	主な取組【取組による CO ₂ 削減量】
株式会社 J-オイルミルズ （製造業） 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化したボイラーを高効率ボイラーへ更新【413t-CO₂】 ・効率の良い生産計画への見直し【296t-CO₂】 ・照明設備の LED 化、エアコンの更新【27t-CO₂】
学校法人総持学園 （教育・学習支援業）	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備の更新【233t-CO₂】 ・照明設備の LED 化【11t-CO₂】
日清オイリオグループ株式会社 （製造業） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスタービンコジェネレーションシステムの導入【9,207t-CO₂】 ・照明設備の LED 化【31t-CO₂】 ・蒸気・エア使用箇所の漏れ箇所の改善【11t-CO₂】
株式会社阪急商業開発 （不動産業、物品賃貸業）	<ul style="list-style-type: none"> ・冷水、温水発生設備の更新【841t-CO₂】 ・照明設備の LED 化【5t-CO₂】
ユナイテッド・アーバン投資法人 （金融業、保険業）	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備の更新【111t-CO₂】 ・照明設備の LED 化【61t-CO₂】
合同会社 YMM インベストメント （不動産業、物品賃貸業）	<ul style="list-style-type: none"> ・設備更新：空調設備の更新、照明器具の LED 化 ・運用改善：換気設備の発停改善、照明器具の間引運用、変圧器の並列運転の見直し <p>【2020 年度は 2017 年度と比較して 32%、1,386t の CO₂ 削減】</p>

（裏面あり）

横浜市地球温暖化対策計画書制度について

市内の温室効果ガスの排出の抑制を目的に、横浜市生活環境の保全等に関する条例に基づき、一定規模以上の温室効果ガスを排出する事業者等に対し、温室効果ガスの削減計画書及び毎年度の実績報告書の提出を義務付けています。制度については下記 URL を御参照ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/ondanka/keikakusho/>

横浜市 計画書制度

検索